



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 オイレス工業株式会社
 コード番号 6282 URL <http://www.oiles.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 昌弥
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 企画管理本部長 (氏名) 宮崎 聡
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0466-44-4901

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	43,663	3.9	3,447	7.2	3,797	2.9	2,522	18.9
29年3月期第3四半期	42,022	6.0	3,713	6.5	3,910	3.4	3,108	21.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,966百万円 (264.5%) 29年3月期第3四半期 1,088百万円 (50.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	80.42	
29年3月期第3四半期	98.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	71,248	57,676	79.6	1,816.01
29年3月期	69,110	56,299	79.3	1,747.67

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 56,712百万円 29年3月期 54,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		25.00		25.00	50.00
30年3月期		25.00			
30年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,400	4.4	4,600	4.1	4,900	6.5	3,300	125.1	105.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	34,300,505 株	29年3月期	34,300,505 株
30年3月期3Q	3,071,177 株	29年3月期	2,958,667 株
30年3月期3Q	31,366,749 株	29年3月期3Q	31,706,838 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注及び販売の状況	9
(2) 地域ごとの売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善や堅調な雇用・所得環境を背景に個人消費も底堅く緩やかな景気回復基調が続きました。また、世界経済においては先進国の景気回復傾向に加え、中国ならびにアセアン等の新興国経済の持ち直しも見られる状況となりました。このような環境にあつて当企業グループは、お客様のニーズに迅速かつ確に対応することにより、国内メーカーからの受注獲得に努めるとともに、欧米、中国、インド、アセアンを重点としたグローバル展開を推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は436億63百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は34億47百万円(前年同期比7.2%減)、経常利益は37億97百万円(前年同期比2.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億22百万円(前年同期比18.9%減)となりました。

<軸受機器>

一般産業機械向け製品においては産業車両向け製品の受注が堅調に推移したほか、射出成形機や工場設備向け製品の売上が拡大いたしました。また、自動車向け製品についても、欧州、インド、アセアンにおける自動車メーカーとの取引が引続き堅調に推移し、軸受機器全体で増収となったものの、米国拠点における品質改善を目的とした構造改革に費用を要したことや、期中に原材料価格が高騰したことなどにより、利益については前年を下回りました。

この結果、軸受機器の売上高は336億19百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益は35億99百万円(前年同期比9.3%減)となりました。

<構造機器>

激しい企業間競争など厳しい事業環境が依然として継続しており、橋梁向け製品の受注が低迷しましたが、建物向け製品について前年を上回る受注を獲得できたことなどにより、構造機器全体として売上は増加し利益についても赤字幅が縮小いたしました。

この結果、構造機器の売上高は48億円(前年同期比3.2%増)、セグメント損失は1億75百万円(前年同期はセグメント損失2億57百万円)となりました。

<建築機器>

主力製品であるウインドーオペレーターの受注が堅調に推移したことと、住宅向け製品の販売に注力した結果、売上が増加するとともに利益を確保いたしました。

この結果、建築機器の売上高は43億1百万円(前年同期比5.6%増)、セグメント利益は15百万円(前年同期はセグメント損失11百万円)となりました。

<その他>

新市場開拓および新規領域の拡大に努めた結果、前年並みの売上を確保いたしました。

この結果、売上高は9億52百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益は4百万円(前年同期比30.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は21億37百万円増加、負債は7億60百万円増加、純資産は13億77百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度より0.3ポイント増加して79.6%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の1億34百万円の増加、受取手形及び売掛金の6億23百万円の増加、原材料及び貯蔵品の1億53百万円の増加、固定資産では投資有価証券の13億92百万円の増加であります。

負債の増減の主なものは、流動負債では支払手形及び買掛金の4億96百万円の増加、未払法人税等の2億25百万円の減少、賞与引当金の5億38百万円の減少、固定負債全体で3億16百万円の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

軸受機器事業は、グローバル市場への販売を拡大するため、最新鋭の生産技術を導入し、高機能高品質品の安定供給とコスト競争力の強化により、さらなる受注拡大を目指します。

構造機器事業は、従来の橋梁、建築事業に加え、物流倉庫向け製品等の新規事業の拡大に注力してまいります。

建築機器事業は、ウインドーオペレーターのメンテナンスおよびリニューアル物件の獲得、省エネに有効な外付けブラインド、自然換気装置の販売拡大に注力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,359	15,493
受取手形及び売掛金	16,844	17,468
有価証券	1,499	1,499
商品及び製品	3,399	3,368
仕掛品	2,648	2,696
原材料及び貯蔵品	2,120	2,273
その他	1,746	1,619
貸倒引当金	△58	△47
流動資産合計	43,559	44,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,188	6,948
機械及び装置(純額)	4,404	4,825
土地	2,895	2,917
その他(純額)	2,554	2,411
有形固定資産合計	17,042	17,102
無形固定資産	821	688
投資その他の資産		
投資有価証券	5,592	6,984
退職給付に係る資産	120	126
その他	1,988	1,986
貸倒引当金	△13	△14
投資その他の資産合計	7,687	9,083
固定資産合計	25,551	26,875
資産合計	69,110	71,248

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,815	6,311
未払法人税等	662	436
賞与引当金	1,027	488
役員賞与引当金	93	71
株主優待引当金	35	—
その他	2,865	3,634
流動負債合計	10,499	10,943
固定負債		
長期借入金	55	—
役員退職慰労引当金	91	52
退職給付に係る負債	740	682
その他	1,424	1,893
固定負債合計	2,311	2,627
負債合計	12,811	13,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,479	9,617
利益剰余金	39,718	40,665
自己株式	△5,005	△5,465
株主資本合計	52,777	53,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,371	2,341
為替換算調整勘定	1,100	1,305
退職給付に係る調整累計額	△473	△336
その他の包括利益累計額合計	1,998	3,310
非支配株主持分	1,523	963
純資産合計	56,299	57,676
負債純資産合計	69,110	71,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	42,022	43,663
売上原価	26,643	28,331
売上総利益	15,378	15,331
販売費及び一般管理費	11,665	11,883
営業利益	3,713	3,447
営業外収益		
受取利息	46	64
受取配当金	90	107
為替差益	—	139
受取保険金	106	24
その他	58	198
営業外収益合計	301	535
営業外費用		
支払利息	20	14
為替差損	55	—
デリバティブ評価損	—	146
その他	28	24
営業外費用合計	104	185
経常利益	3,910	3,797
特別利益		
投資有価証券売却益	514	36
負ののれん発生益	—	0
特別利益合計	514	36
特別損失		
固定資産処分損	14	29
減損損失	—	57
投資有価証券評価損	56	—
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	70	87
税金等調整前四半期純利益	4,354	3,746
法人税等	1,142	1,122
四半期純利益	3,211	2,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,108	2,522

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,211	2,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	969
為替換算調整勘定	△2,272	235
退職給付に係る調整額	127	136
その他の包括利益合計	△2,123	1,342
四半期包括利益	1,088	3,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,096	3,834
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年11月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式430千株の取得を行いました。これにより、自己株式が999百万円増加しました。また、平成29年12月15日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、ユニプラ株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。当該株式交換を主因として、自己株式が353百万円減少いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,465百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,413	4,650	4,068	41,131	890	42,022	—	42,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	6	10	20	31	△31	—
計	32,416	4,650	4,074	41,141	911	42,053	△31	42,022
セグメント利益又は損 失(△)	3,969	△257	△11	3,700	6	3,706	6	3,713

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,617	4,800	4,300	42,717	945	43,663	—	43,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	1	4	7	11	△11	—
計	33,619	4,800	4,301	42,721	952	43,674	△11	43,663
セグメント利益又は損 失(△)	3,599	△175	15	3,439	4	3,444	3	3,447

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 (固定資産に係る重要な減損損失)
 構造機器事業セグメントにおいて、構造機器製造設備について減損損失を特別損失に計上しております。なお、減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては57百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)
 該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,112	31.9	33,720	76.2	33,617	77.0	3,215	31.0
構造機器	5,741	58.8	4,749	10.7	4,800	11.0	5,690	54.9
建築機器	714	7.3	4,642	10.5	4,300	9.8	1,057	10.2
報告セグメント計	9,568	98.0	43,112	97.4	42,717	97.8	9,963	96.2
その他	195	2.0	1,145	2.6	945	2.2	396	3.8
合計	9,764	100.0	44,258	100.0	43,663	100.0	10,359	100.0

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	2,937	35.2	32,291	75.6	32,413	77.1	2,816	31.2
構造機器	4,526	54.2	4,978	11.7	4,650	11.1	4,854	53.8
建築機器	642	7.7	4,514	10.6	4,068	9.7	1,088	12.1
報告セグメント計	8,106	97.1	41,785	97.9	41,131	97.9	8,759	97.0
その他	241	2.9	917	2.1	890	2.1	268	3.0
合計	8,347	100.0	42,702	100.0	42,022	100.0	9,027	100.0

前連結会計年度(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	2,937	35.2	43,399	74.4	43,224	76.0	3,112	31.9
構造機器	4,526	54.2	7,790	13.4	6,574	11.6	5,741	58.8
建築機器	642	7.7	5,932	10.2	5,861	10.3	714	7.3
報告セグメント計	8,106	97.1	57,122	98.0	55,660	97.8	9,568	98.0
その他	241	2.9	1,187	2.0	1,233	2.2	195	2.0
合計	8,347	100.0	58,310	100.0	56,893	100.0	9,764	100.0

(2) 地域ごとの売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
26,275	4,425	1,875	8,528	916	42,022

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
27,244	3,826	2,244	9,269	1,077	43,663

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、中国向け売上高は5,257百万円です。